

# ナブテスコ株式会社

## 2022年12月期 決算説明会資料

2023年2月17日

代表取締役社長

木村 和正

<b>1. 2022年12月期決算総括</b>	P2	<b>4. 2022年12月期トピックス</b>	
<b>2. 2022年12月期連結業績概要</b>		中期経営計画の取り組み	P20-22
累計実績サマリー【前期比・修正計画比】	P4	ESG外部評価	P23
累計実績サマリー【前期比・セグメント別】	P5-6	<b>5. Appendix</b>	
第4四半期での営業利益変動要因	P7	キャッシュフロー	P25
財務諸表【P/L】【B/S】	P8-9	設備投資額内訳	P26
<b>3. 2023年12月期計画</b>		地域別売上高構成比	P27
2023年度の見通し	P11	為替影響	P28
2023年12月期計画【P/L】【前期比・セグメント別】	P12-13	営業利益変動要因分析【2022年/2023年】	P29
2023年12月期計画 セグメント別概況	P14-17	精密減速機【連結受注・生産能力推移】	P30
設備投資額/研究開発費/減価償却費	P18	売上高/営業利益推移	P31-33
		主要製品	P34-37

## 【資料中の事業別略語について】

CMP: コンポーネントソリューションセグメント 精密減速機、油圧機器  
 TRS: トランスポートソリューションセグメント 鉄道車両用機器、航空機器、商用車用機器、船用機器、他  
 ACB: アクセシビリティソリューションセグメント 自動ドア（建物用自動ドア、プラットホームドア、福祉機器）  
 MFR: マニユファクチャリングソリューションセグメント 包装機、他

## 外部環境変化

- ✓ 世界的な原材料費の高騰、電子部品不足
- ✓ 中国経済の変動

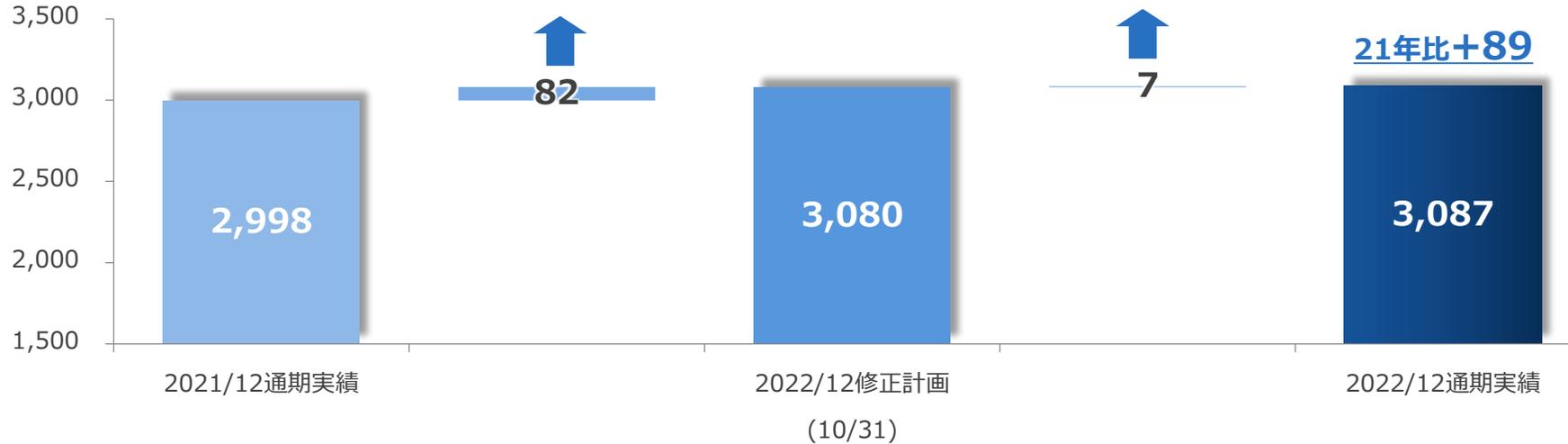
	事業	2022年市場環境	動向
売上高 (前年比)	精密減速機	産業用ロボットの需要拡大 (売上高 前年比+122億円)	
	油圧機器	中国の建機需要が大幅減少 (中国向け売上高 前年比約▲160億円)	
	TRS	移動制限緩和による需要の拡大	
	ACB	電子部品不足による受注制限、MRO遅れ	
	MFR	電子部品不足による生産遅れ、MRO遅れ	
営業利益 (前年比)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 油圧機器の大幅な売上減少に伴う減益</li> <li>✓ 原材料費の高騰に対する価格転嫁の遅れ</li> <li>✓ 電子部品不足によるMRO減少の影響</li> <li>✓ ACBの海外プロジェクトでの工事費増加</li> </ul>		 <p>これら要因により収益を押し下げ</p>

## 2. 2022年12月期連結業績概要

## 売上高

好調な精密減速機に加え、為替での押し上げ効果もあり  
前期実績および修正計画を上回り当社として初の3,000億円台を達成した。

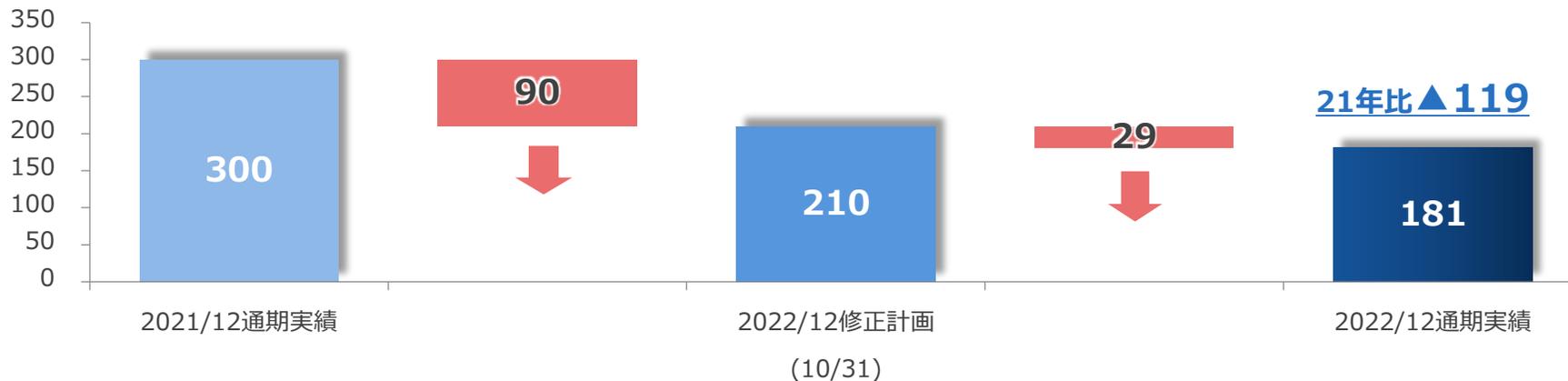
億円



## 営業利益

油圧機器の減収による減益に加え、原材料費や人件費の高騰の影響を受け、  
前期実績を大幅に下回る結果となった。

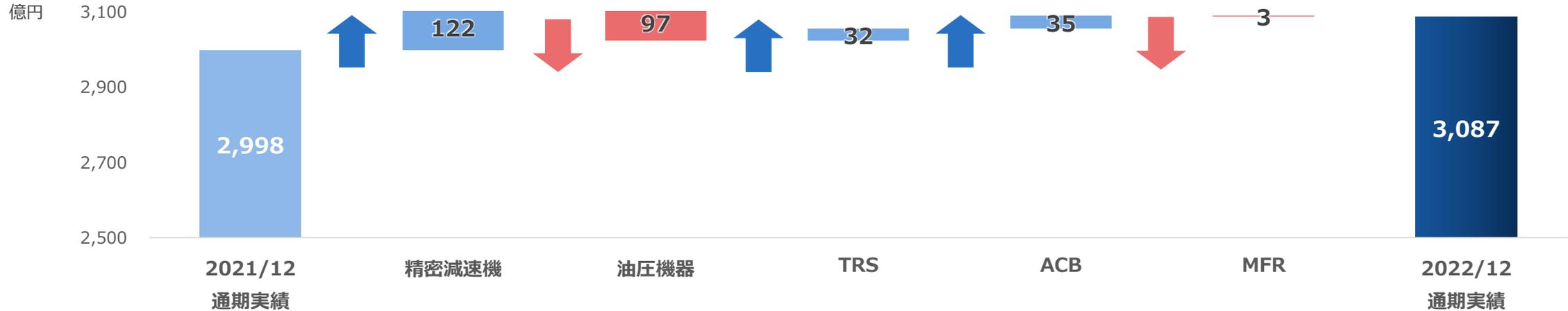
億円



# 2. 2022年12月期 累計実績サマリー【前期比・セグメント別】 *Innovation In Action*

Vision 2030

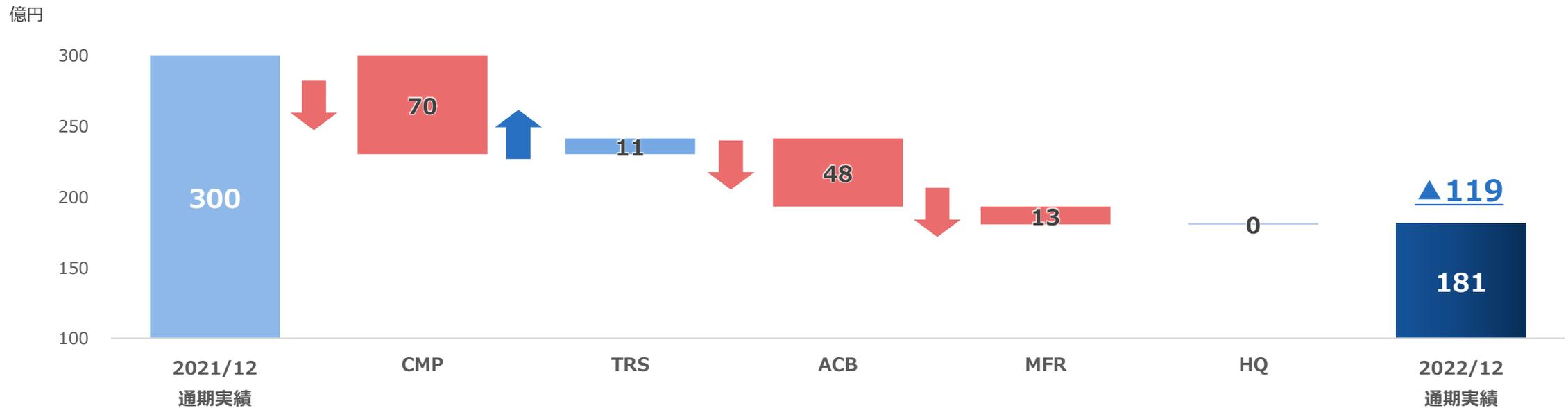
## 売上高



CMP	精密減速機	↗	主にEV関連への旺盛な設備投資を背景に、産業用ロボット向けで高い需要が継続
	油圧機器	↘	中国市場で需要が大幅に減少
TRS	鉄道車両用機器	→	MRO*1は堅調に推移したものの、国内及び海外市場において新車向け需要が低迷
	航空機器	↗	防衛省向けでの輸入調達品納入遅延等の影響があったものの、民間航空機向けでは需要回復
	商用車用機器	↗	国内において顧客の減産影響を受けたものの、東南アジア市場では需要拡大
	船用機器	↗	造船・海運市場が好調に推移
ACB	自動ドア	↗	国内では建設需要の端境期であったこと、また電子部品不足の影響を受けたものの、円安効果(+48億円)もあり増収
MFR	包装機	→	製品売上・MROともに電子部品調達難の影響が継続

\*1 MRO : Maintenance, Repair, Overhaul

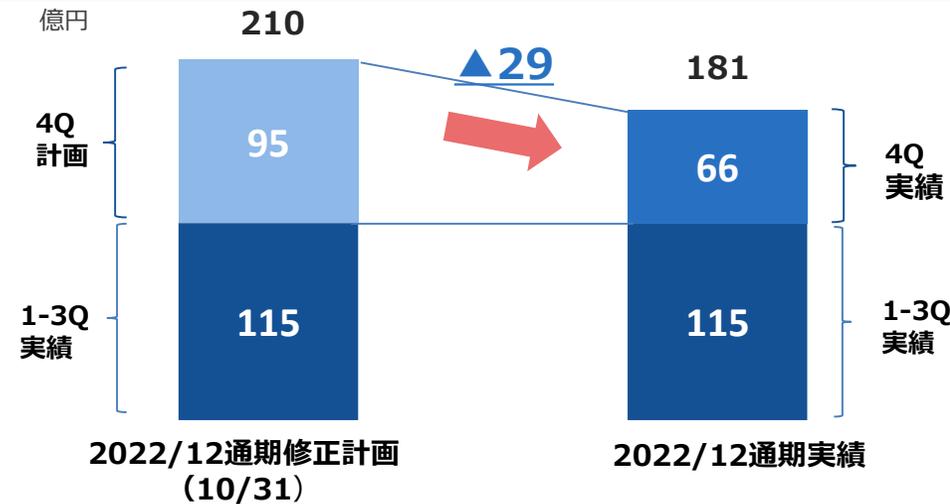
## 営業利益



CMP	精密減速機	↓	原材料費や人件費の高騰を受け、価格転嫁の推進を進めたものの効果発現は限定的であった
	油圧機器		中国の建機需要が大幅に減少し、売上高減少に伴い減益となった
ACB	自動ドア	↓	電子部品不足による国内外での受注制限、MROの減少、価格転嫁の発現時期の遅れに加え、海外プラットホームドア案件での想定を超えるコスト増加、及び工事進行基準に基づく収益の見直しもあり、減益となった

## 2. 2022年第4四半期での営業利益変動要因

### 営業利益



営業利益への影響額 (億円)		主な変動要因
為替	▲3	・円安から円高に為替が変動し収益を押し下げ ¥135/USD, ¥20/RMB(修正計画) → ¥132/USD, ¥19.8/RMB (通期実績)
CMP	精密減速機	・中国工場においてコロナロックダウンによる生産ストップ影響 ・国内工場において人員不足およびコロナ影響を受け、生産計画未達による影響
	油圧機器	・中国市場での中大型機種種の減少に伴う減益 ・更なる原材料費の高騰
ACB	▲19	・海外プラットフォームドア案件で、コスト（総工事原価）の再見積りを実施した結果、工事進行基準に基づく収益見直しの影響あり（23年以降の工事引当金を含む） ・建物用ドアで価格転嫁に対する発現時期の遅れ
その他	+14	・TRS(+9), MFR(▲3), 本社費(+8)
合計	▲29	

## 2. 2022年12月期 通期連結業績【P/L】

(単位：億円)

	2021/12 通期実績(A)	2022/12 通期実績(B)	前年比増減 (B-A)	2022/12 10/31公表 修正計画 (C)	修正計画比 (B-C)
売上高	2,998	3,087	89	3,080	7
営業利益	300	181	-119	210	-29
(営業利益率)	10.0%	5.9%	-4.1pt	6.8%	-1.0pt
金融損益	699	-51	-750	68	-119
(うちHDS <sup>*1</sup> 株式評価)	707	-56	-763	49	-105
持分法による投資利益	21	28	7	28	0
税引前利益	1,020	158	① -862	306	-148
当期利益 <sup>*2</sup>	648	95	-554	205	-110
基本的1株当たり当期利益(円)	534.7	78.9	-455.8	170.8	-92.0
HDS評価用の株価	4,860円/株	3,715円/株	—	4,860円/株	—
ROIC	8.1%	4.6%	-3.5pt		
1株当たり配当金(円)	77.0	② 78.0	1.0	78.0	0.0
配当性向	14.4%	98.9%	84.5pt	45.7%	53.2pt

① 税引前利益の減少はHDS株式売却で生じた金融損益による

② 配当金は安定配当を志向し年間78円を予定

\*1 HDS：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ \*2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

## 2. 2022年12月期 通期連結業績【B/S】

(単位：億円)

	2021/12期末 2021年12月31日	2022/12 期末 2022年12月31日	差異
資産	4,817	4,593	-224
(現預金等)	1,128	① 1,244	116
(売上債権)	770	794	24
(棚卸資産)	419	② 492	73
(売却目的で保有する資産)	445	③ 340	-105
(有形固定資産)	890	961	71
(非流動資産のその他の金融資産)	539	④ 100	-439
負債	2,267	1,961	-307
(借入金)	176	203	27
(流動負債のその他金融負債)	779	⑤ 473	-306
(未払法人所得税等及び繰延税金負債)	337	158	-179
資本	2,550	2,632	82
(自己株式)	-48	-46	2
(非支配持分)	151	145	-6
親会社所有者帰属持分	2,399	2,487	88
親会社所有者帰属持分比率：	49.8%	⑥ 54.1%	

①現預金の増加  
HDS\*1株式売却による増加  
(1回目売却の精算+2回目売却)

②棚卸資産の増加  
精密減速機の増産、電子部品の安全  
在庫増加、海外資産の円安による増加

③HDS株式1回目売却完了による減少

④HDS株式2回目売却に伴い流動資産  
へ振替

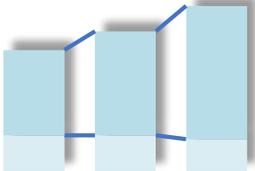
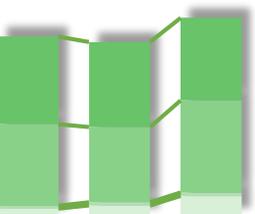
⑤その他金融負債の減少はHDS売却  
預り金の減少による

⑥健全な自己資本比率を維持

\*1 HDS：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

# 3. 2023年12月期計画

# 3. 2023年度の見通し

事業		市場環境	市場動向	売上予測 (22年比増減率)	年度末受注残 (20/21/22)
CMP	精密減速機	 EV向け設備投資は継続しロボット需要は好調		 <b>+18%</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>精密減速機</li> <li>油圧機器</li> </ul>
	油圧機器	 中国市場は引き続き需要停滞		 <b>-5%</b>	
TRS	鉄道車両用機器	 新車向け投資は抑制		 <b>+10%</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道車両用機器</li> <li>航空機器</li> <li>商用車用機器</li> <li>船用機器</li> </ul>
	航空機器	 民間防衛とともに本格回復基調			
	商用車用機器	 新車MRO需要は好調			
	船用機器	 造船・海運市場は好調維持			
ACB	自動ドア	 首都圏での再開発案件、MRO需要好調		 <b>+9%</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動ドア</li> </ul>
MFR	包装機	 自動化・省人化ニーズを受け好調な需要		 <b>+10%</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>包装機</li> </ul>
全社		全セグメントでの増収を見込む		 <b>+10%</b>	

2023年度  
利益改善

人員最適配置、自動化、  
人材確保による増産対応



価格転嫁効果の  
着実な刈り取り



電子部品不足解消  
による生産・MRO拡大



これらのアクションにより  
大幅な利益改善を目指す

**+45%**

### 3. 2023年12月期計画【P/L】

(単位：億円)

	2022/12 通期実績(A)	2023/12 通期計画(B)	前年比増減 (B-A)
売上高	3,087	3,390	303
営業利益	181	262	81
(営業利益率)	5.9%	① 7.7%	1.8pt
金融損益	-51	9	60
(うちHDS* <sup>1</sup> 評価)	-56	9	65
持分法による投資利益	28	21	-7
税引前利益	158	292	134
当期利益* <sup>2</sup>	95	195	100
基本的1株当たり当期利益(円)	78.9	162.5	83.6
HDS評価用の株価	3,715円/株	3,715円/株	—
ROIC	4.6%	6.5%	1.9pt
1株当たり配当金(円)	78.0	② 80.0	2.0
配当性向	98.9%	49.2%	-49.7pt

① 価格転嫁、増収、生産性改善等で営業利益を改善

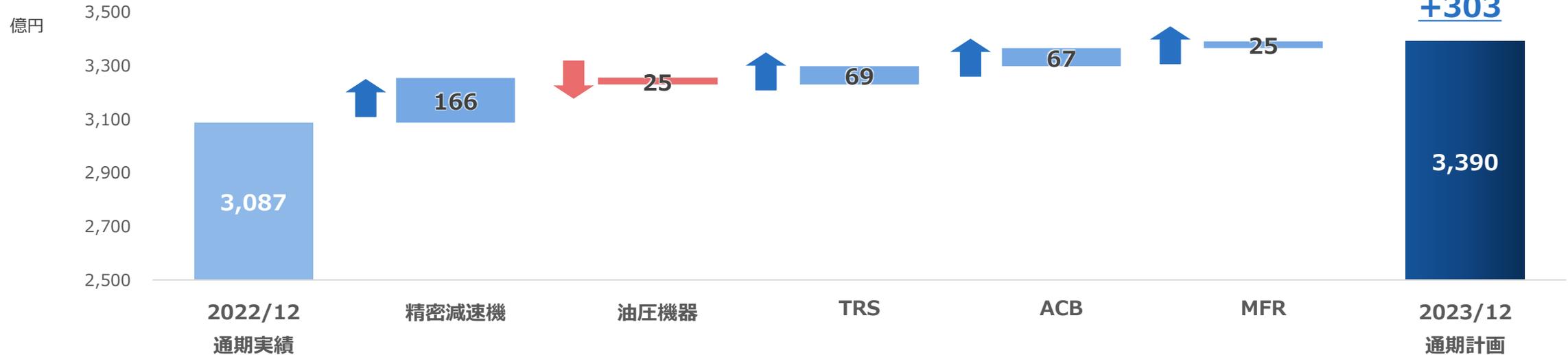
② 2023年は2円増配し年間80円の配当を予定

\*<sup>1</sup> HDS：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ \*<sup>2</sup> 当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

### 3. 2023年12月期計画【前期比・セグメント別】

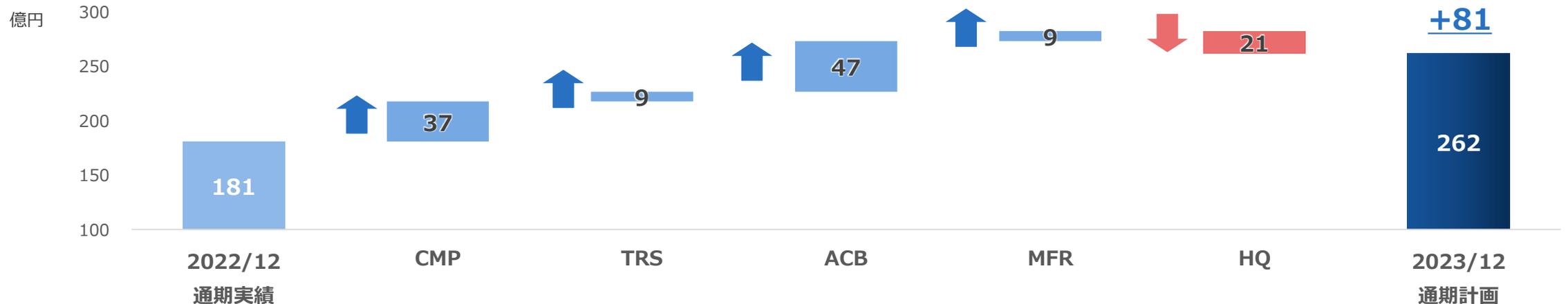
#### 売上高

油圧機器と鉄道車両用機器を除く各事業で増収を見込む。



#### 営業利益

2022年度の収益悪化要因の対策を進め、全セグメントで増益を見込む。  
2023年度はイノベーション推進に向けた積極的な投資を計画（本社費増加）



## 売上高・市場環境



### 精密減速機

EV関連への旺盛な設備投資を背景に、産業用ロボット向けに高い需要が継続



### 油圧機器

- ✓ 中国市場において、需要低迷が続くと共に、競合環境も激化
- ✓ 東南アジア市場は好調を維持

売上高(億円)



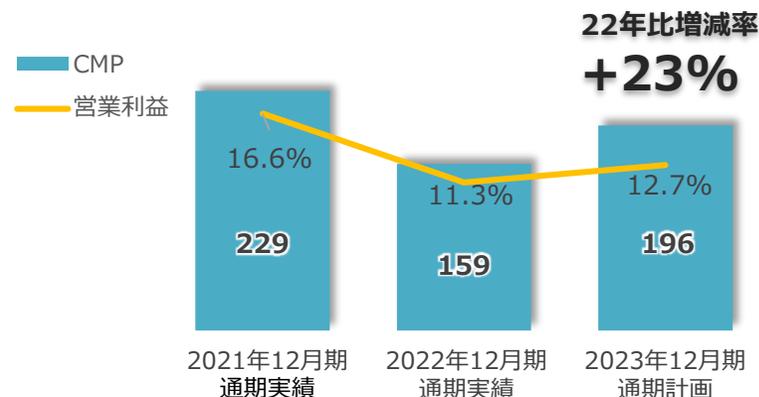
## 営業利益・改善施策



### CMPセグメント

- ✓ 精密減速機の生産増加に伴う増益
- ✓ 確実な価格転嫁による効果発現
- ✓ 設計改善を含む調達コストの削減
- ✓ 人員再配置による生産能力の確保

営業利益(億円)



## 中期重点施策

### 精密減速機

- ✓ 浜松工場の生産開始 (23/4Q)
- ✓ 高い需要に応える高自動化生産の実現

### 油圧機器

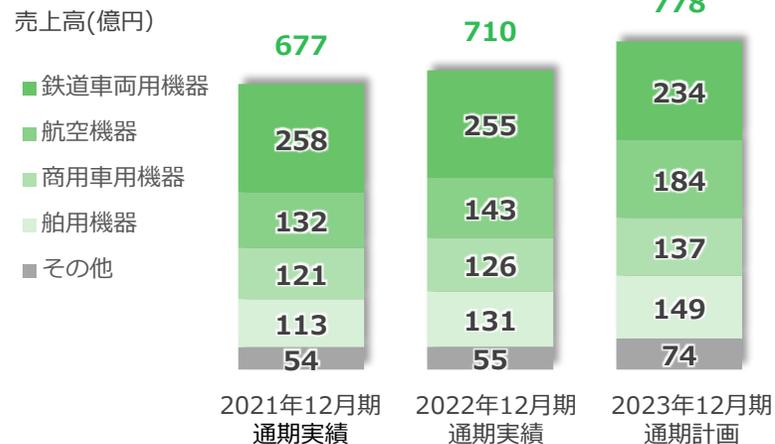
- ✓ 欧米、新興市場での拡販
- ✓ 電動化/自動運転に対応した製品開発

## 浜松の新工場建設



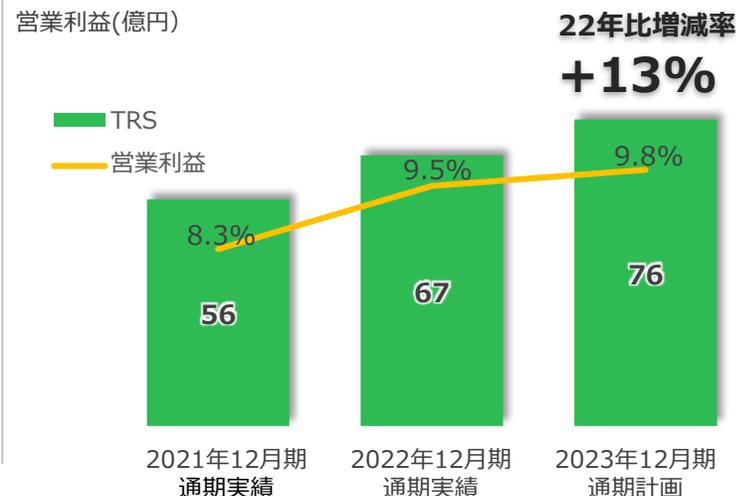
## 売上高・市場環境

-  **鉄道車両用機器**  
国内で新車向け投資の抑制が継続
-  **航空機器**  
民間航空機向け、防衛省向けともに需要回復
-  **商用車用機器**  
日本顧客の生産回復、東南アジア市場での好調な需要が継続
-  **舶用機器**  
造船・海運市場の好調が継続



## 営業利益・改善施策

-  **TRSセグメント**
  - ✓ 航空機器や舶用機器での増収に伴う増益
  - ✓ MRO拡大による増益
  - ✓ 人員最適配置による生産体制の構築



## 中期重点施策

- 鉄道車両用機器**
  - ✓ 東南アジア市場での市場開拓
  - ✓ 電動化に向けた技術開発の推進
- 航空機器**
  - ✓ 国際共同開発プログラムへの参画
  - ✓ 次期開発プロジェクト（民間）での協業推進
- 商用車用機器**
  - ✓ 電動化製品の技術開発および顧客開拓
- 舶用機器**
  - ✓ 自動航行や遠隔操作システム製品の開発
  - ✓ 脱炭素に向けた新技術開発



## 売上高・市場環境



### 自動ドア

- ✓ 国内市場では都市再開発による大型商業ビル向け受注獲得
- ✓ 電子部品不足の解消によるMRO拡販の実施
- ✓ プラットホームドアでのコロナ影響から需要回復に伴う受注獲得

売上高(億円)



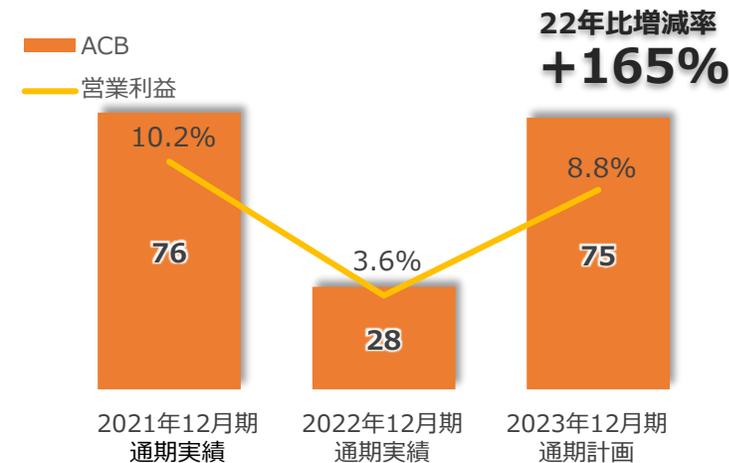
## 営業利益・改善施策



### ACBセグメント

- ✓ 国内新築建物用ドアの増収による増益
- ✓ 電子部品不足解消によるMRO推進による利益率改善
- ✓ 価格転嫁効果の着実な刈り取り

営業利益(億円)



## 中期重点施策

### 自動ドア

- ✓ 増加する需要に応えるため、生産の更なる自動化、施工前工程の見直しによる効率化
- ✓ 自動ドアを通じたDXビジネスモデルの創出と推進

### デジタル化による新ビジネス

- 商業施設での商品・サービス等の広告掲示
- 交通機関での天気・災害情報等の提供



デジタルサイネージ付き自動ドア (イメージ図)

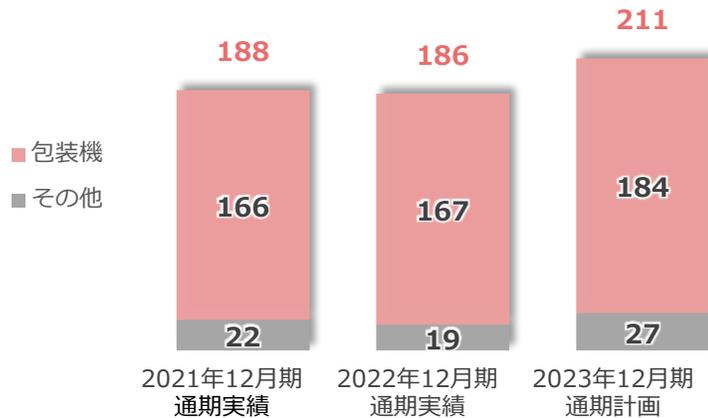
## 売上高・市場環境



### 包装機

- ✓ 自動化・省人化ニーズを受け好調な需要が継続
- ✓ 電子部品不足も対策推進により、受注残の解消およびMROの促進

売上高(億円)



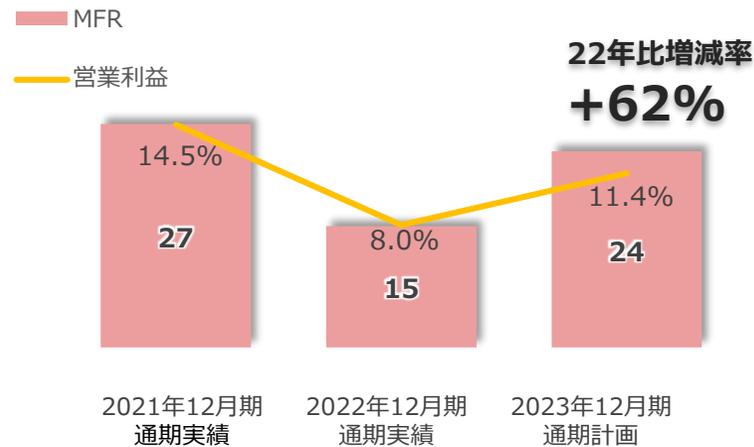
## 営業利益・改善施策



### MFRセグメント

- ✓ 電子部品不足解消による増収効果
- ✓ 価格転嫁効果の着実な刈り取り
- ✓ MRO拡大による増益

営業利益(億円)



## 中期重点施策

### 包装機

- ✓ 東南アジアを中心とした海外市場開拓
- ✓ 環境保全で要求される新包材に対応した包装機の開発
- ✓ 検査機能等を加えた高付加価値の製品拡販

### PACRAFT社の新事業推進

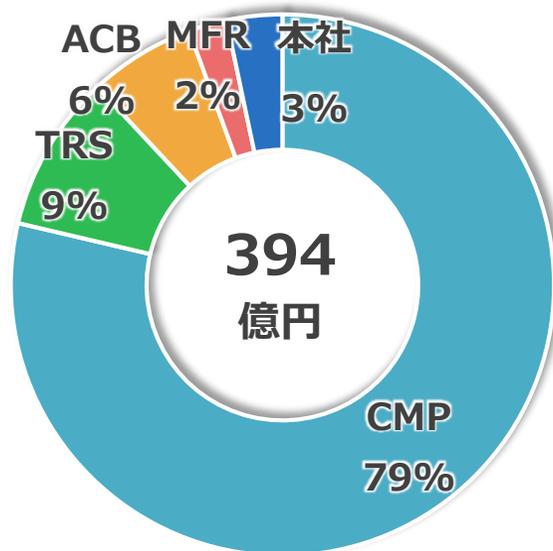
2022年12月、フランスの展示会でEngilico社のAI画像処理シール検査装置が最優秀賞を受賞



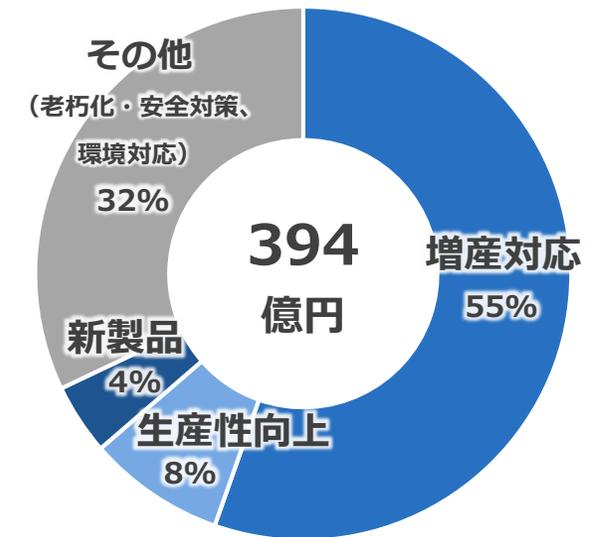
HyperScope™

(単位：億円)	2017/12 通期実績	2018/12 通期実績	2019/12 通期実績	2020/12 通期実績	2021/12 通期実績	2022/12 通期実績	2023/12 通期計画
設備投資額	188	203	164	151	96	188	394
研究開発費	87	102	99	90	96	109	139
減価償却費	90	100	131	137	133	145	158

## 2023/12 通期計画



- 【主要設備投資内容】
- 精密減速機（津・浜松・中国工場）  
-増産対応、生産性向上
  - 油圧機器（垂井工場）  
-老朽化更新、生産性向上
  - 環境対応（各拠点）  
-太陽光発電、高効率空調の導入、エネルギーマネジメントシステムの高度化



## 4. 2022年12月期 トピックス

## 社内アイデア事業化制度 “Light” がスタート

- ✓ 2022年8月発足
- ✓ 社員から寄せられた多数のアイデアから事業化への発展を目指す
- ✓ **2022年は20件がビジネスコンテストへ進展**

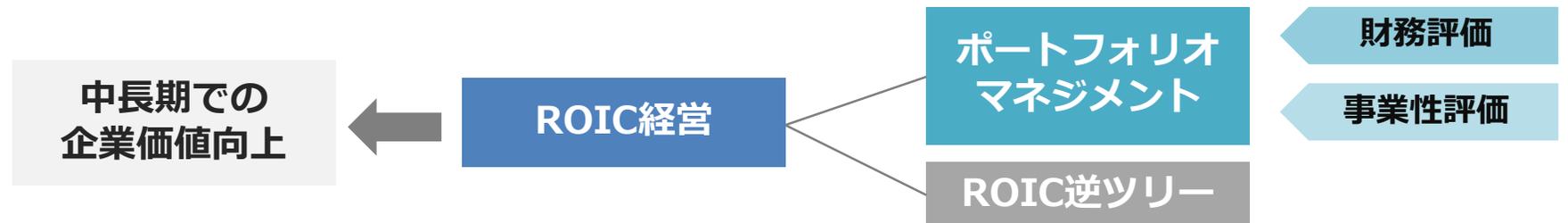
Leading Innovation for growth harmonized with technology

## イノベーション戦略室 を新設

- ✓ 中期経営計画で掲げるイノベーション活動の強化に向け、2023年1月1日付で組織を改編
- ✓ **DX・CVCの推進加速を目指し、イノベーション戦略室を新設**

## 事業ポートフォリオ マネジメント の推進

- ✓ 2023年より**財務評価、事業性評価**を含めた具体的運用を開始



## 舶用機器

環境保全・自律運航対応の  
システム開発を推進

- ✓ 無人運航船の社会実装を目指すコンソーシアム「DFFAS」に参画
- ✓ 東京計器およびDeep Sea社との共同開発で、AI技術を活用した**環境保全や自律運航**に貢献するシステム開発を推進



無人運航の実証実験を行ったコンテナ船「すざく」



## CMFS

新ビジネスとして  
事業化へ前進

- ✓ 欧州の発電事業者、機器メーカーから**多数の引き合いを獲得**
- ✓ 2022年にCVC出資したeologix社と新たな状態監視の共同開発を推進



診断サービスにより風力発電機  
の故障回避や延命化に貢献



出所：IEA World Energy Outlook 2022

## スペースワンと 資本業務提携

- ✓ 小型ロケットによる人工衛星打上げ事業に取り組むスペースワン社と事業提携
- ✓ 航空機器事業における経験や技術を活用し、新たな**宇宙ビジネス**を展開

## カーボンニュートラル実現への取り組みを着実に推進

### Scope 1 & 2目標 (自社事業における 直接・間接排出)

(2015年基準)  
2024年 △ 25%  
2030年 △ 63%  
2050年 △ 100%

- 省エネ：営業車のEVへの切り替え、加工機・空調機の高効率化等
- 創エネ：太陽光パネル導入等、設備投資を実施
- 再エネ：国内外での再生エネルギー証書購入

### Scope 3目標 (サプライチェーンを 含む間接排出)

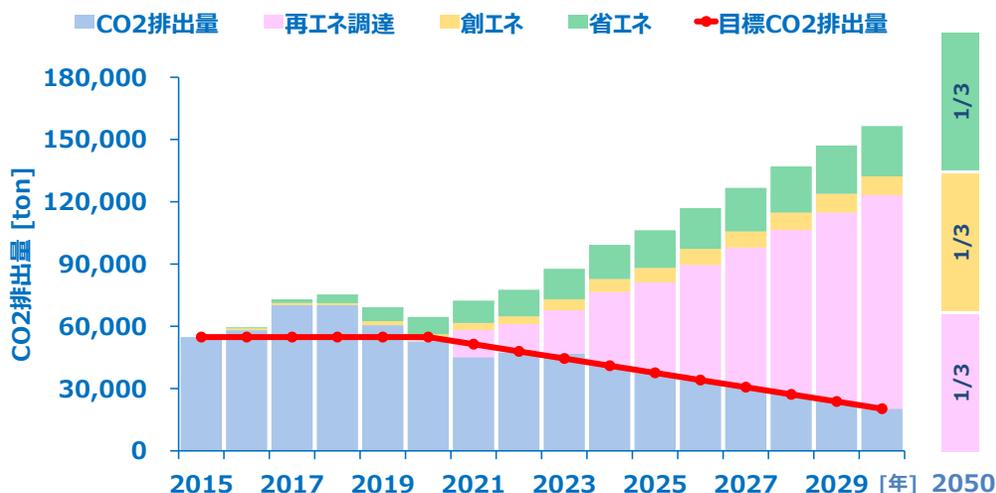
2025年 自主削減目標の設定  
2030年 SBTの設定

#### サプライヤーとの協働によるCO<sub>2</sub>削減

- 2022年度 SAQ実施社数：1144社、サプライヤーとの面談件数：25社
- 調達金額7割を占める上位サプライヤーでの自主削減目標の設定を支援  
→ 目標設定率100%を2024年に前倒して実現すべく、働きかけを実施

2021年 (実績)	2022年 (実績)	2023年 (計画)	2024年 (計画)
70%	84.3%	90%	100%

### <Scope 1 & 2でのCO<sub>2</sub>排出削減計画>



### <事業活動を通じたCO<sub>2</sub>削減取り組み>

・浜松新工場でのカーボンニュートラル実現へ



オンサイト太陽光パネル

- ・自動ドア販売会社の営業車をEV車に切替え  
→ 1台切り替えで年間約1トンのCO<sub>2</sub>削減効果



ナブコドアでの導入車



ソーラーカーポートの導入

# 4. ESG外部評価のアップデート

- DJSI World、FTSEなどのインデックスへの組み入れ、主要評価機関からの高評価を継続的に獲得
- 日経スマートワーク経営調査、日経SDGs経営調査では星4つを獲得

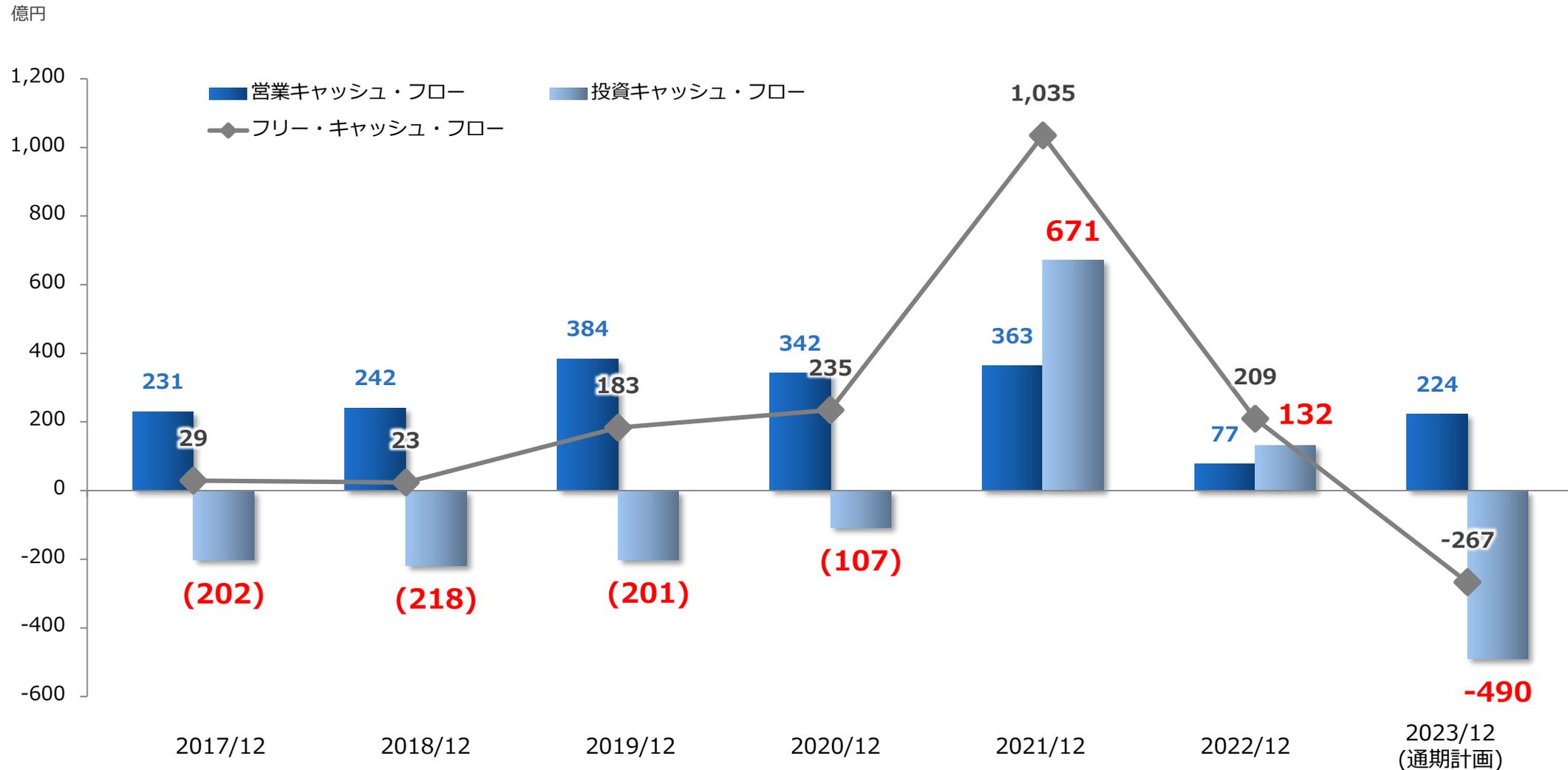
分類	ESG指数／評価機関	2022
ESG 総合 指数	DJSI World 	7年連続 (2016～)
	FTSE4Good 	13年連続 (2009～)
	FTSE Blossom Japan 	5年連続 (2017～)
	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 	初選定 (2022年)
	MSCI ジャパンESG セレクトリーダーズ 	5年連続 (2017～)
主な 評価 機関	Sustainalytics Industry Top-Rated Badge 	初選定 (2022)
	Top 10% S&P Global ESG Score 2022 	初選定 (2023)
	S&P/JPX カーボン エフィシエント 	5年連続 (2017～)
	CDP CLIMATE CHANGE 	7年連続 Aリスト入り (2015～)
	CDP WATER SECURITY 	3年連続 Aリスト入り (2019～)

主なメディア調査	2022
日経 スマートワーク経営調査 	星4 ★★★★
日経 SDGs経営調査	星4 ★★★★
日経 GX500	総合順位171位/504社
日刊工業新聞 真に力のある企業調査	総合順位18位/177社
東洋経済 CSR調査	AAA (CSR評価項目)

初選定もしくは前回比で評価アップ

# 5. Appendix

- HDS株式売却による投資キャッシュ・フローがプラス  
2023年は成長投資により、マイナスのフリー・キャッシュ・フローを見込む



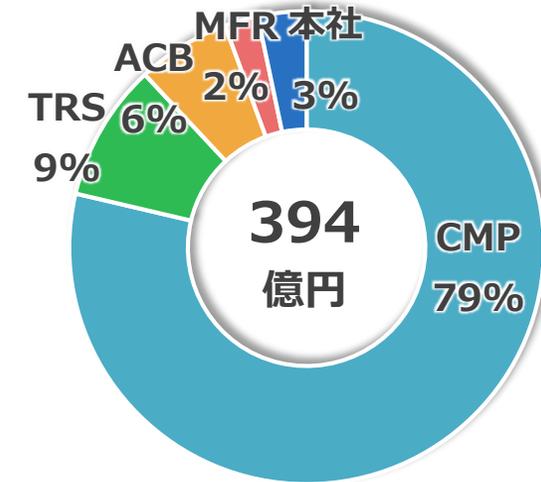
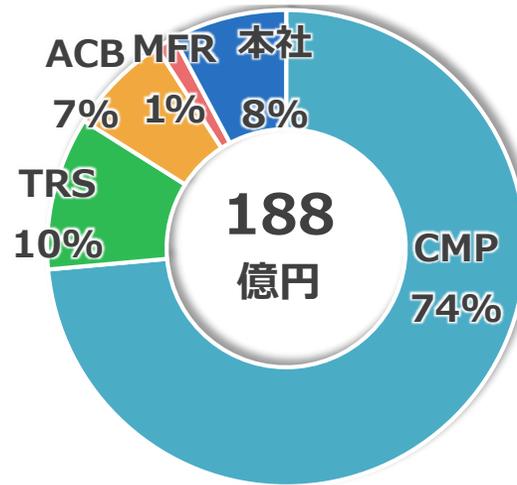
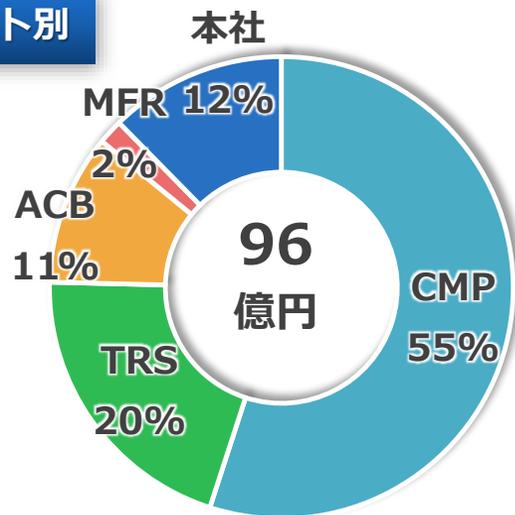
# 5. 設備投資額内訳

2021/12 通期実績

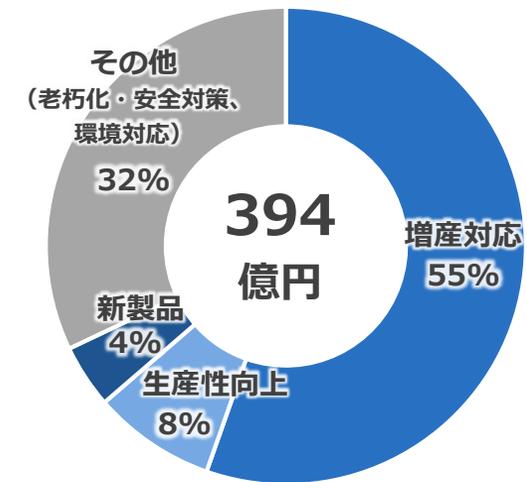
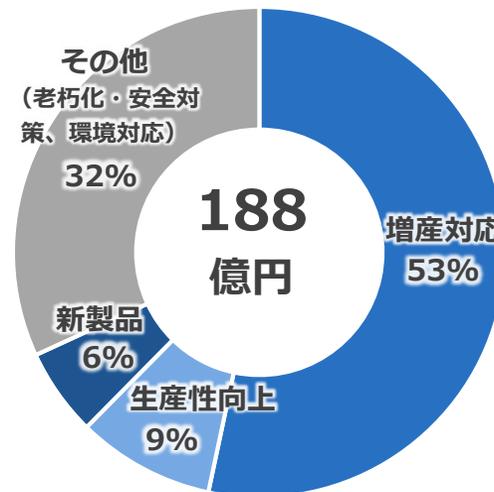
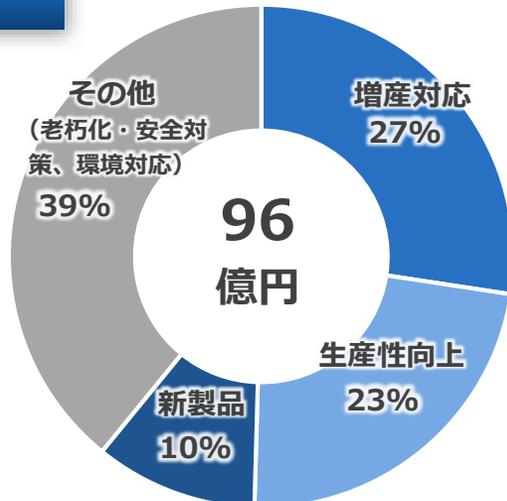
2022/12 通期実績

2023/12 通期計画

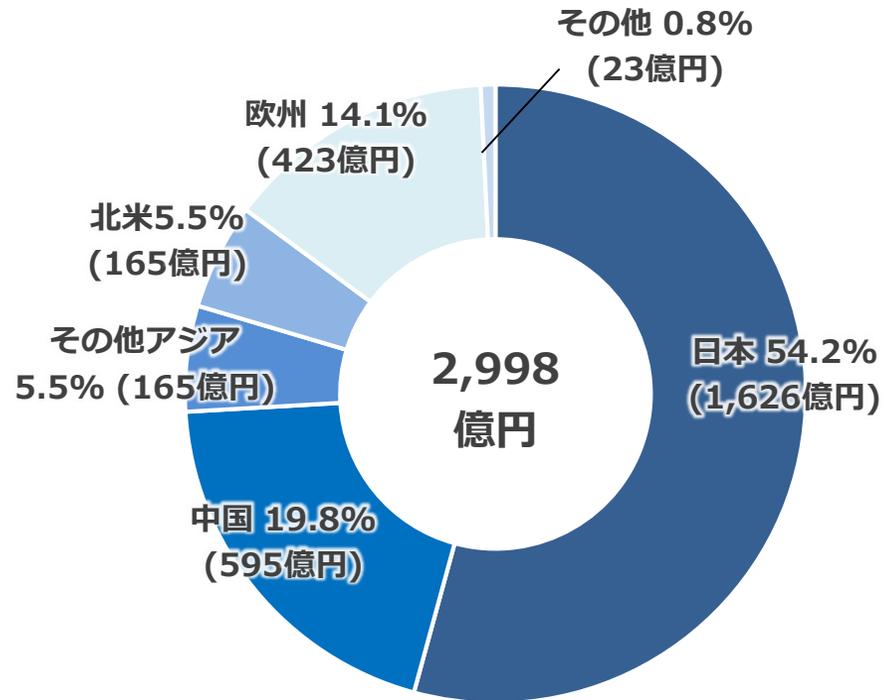
## セグメント別



## 目的別

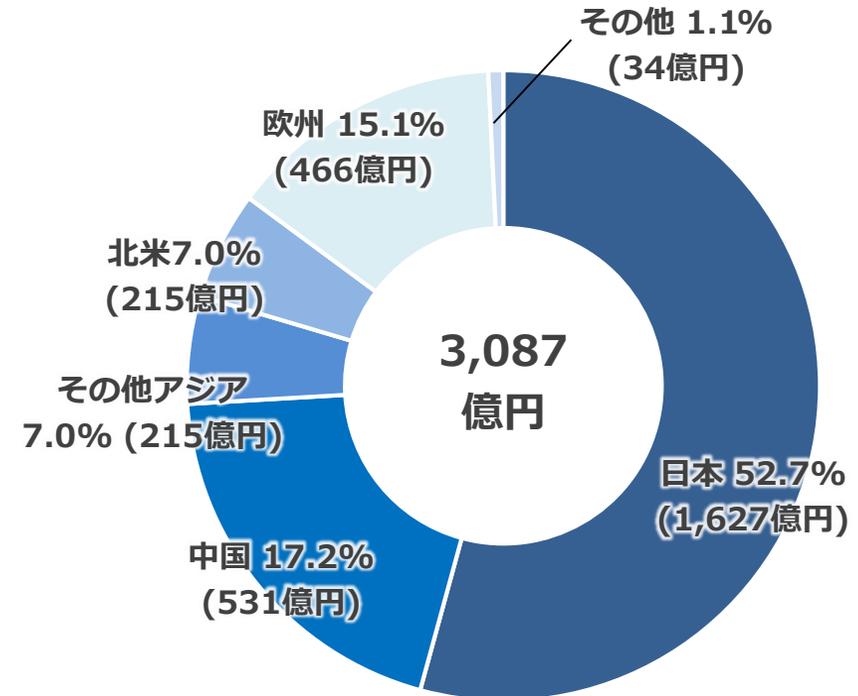


2021/12 通期実績



海外売上高	1,372億円
海外売上高比率	45.8%

2022/12 通期実績



海外売上高	1,460億円
海外売上高比率	47.3%

## ■ 為替レート

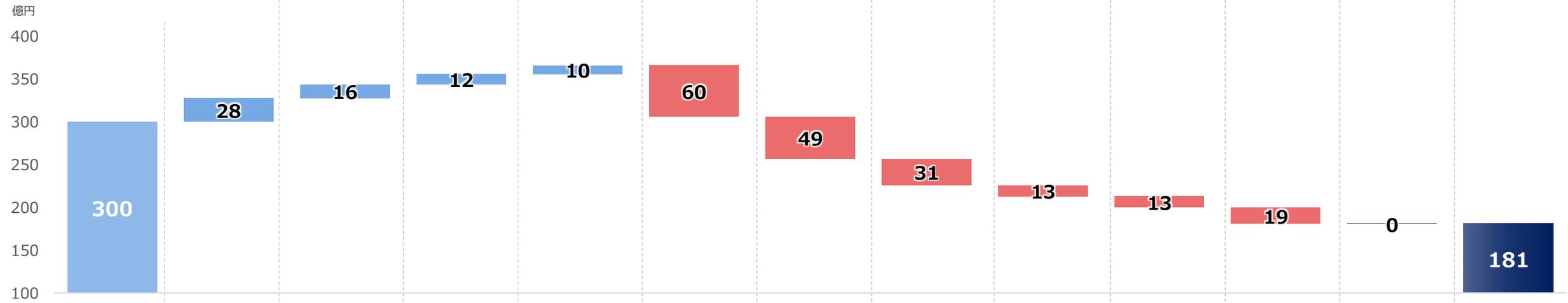
	2021/12 通期実績	2022/12 通期実績	2023/12 期間平均レート
<b>USD</b>	¥110.37	¥132.08	¥125.00
<b>RMB</b>	¥17.12	¥19.50	¥18.50
<b>EUR</b>	¥130.34	¥138.52	¥130.00
<b>CHF</b>	¥120.71	¥138.43	¥135.00

## ■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

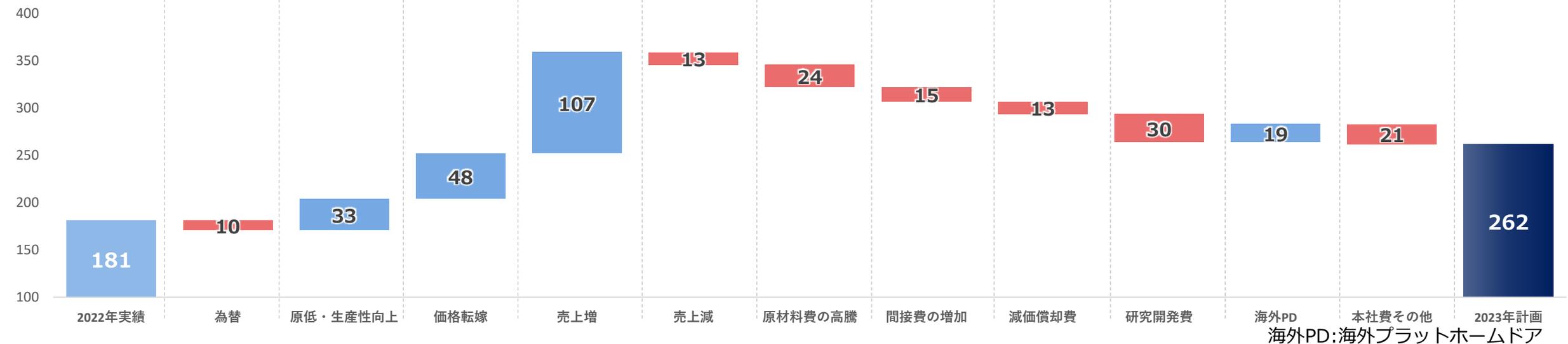
(百万円)	2021/12 通期実績		2022/12 通期実績		2023/12 通期計画	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
<b>USD</b>	74	31	132	61	191	58
<b>RMB</b>	1,571	646	2,369	547	1,387	274
<b>EUR</b>	40	軽微	67	軽微	77	軽微
<b>CHF</b>	133	軽微	203	軽微	230	軽微

# 5. 営業利益変動要因分析【22年実績/23年計画】

## 2021年→2022年



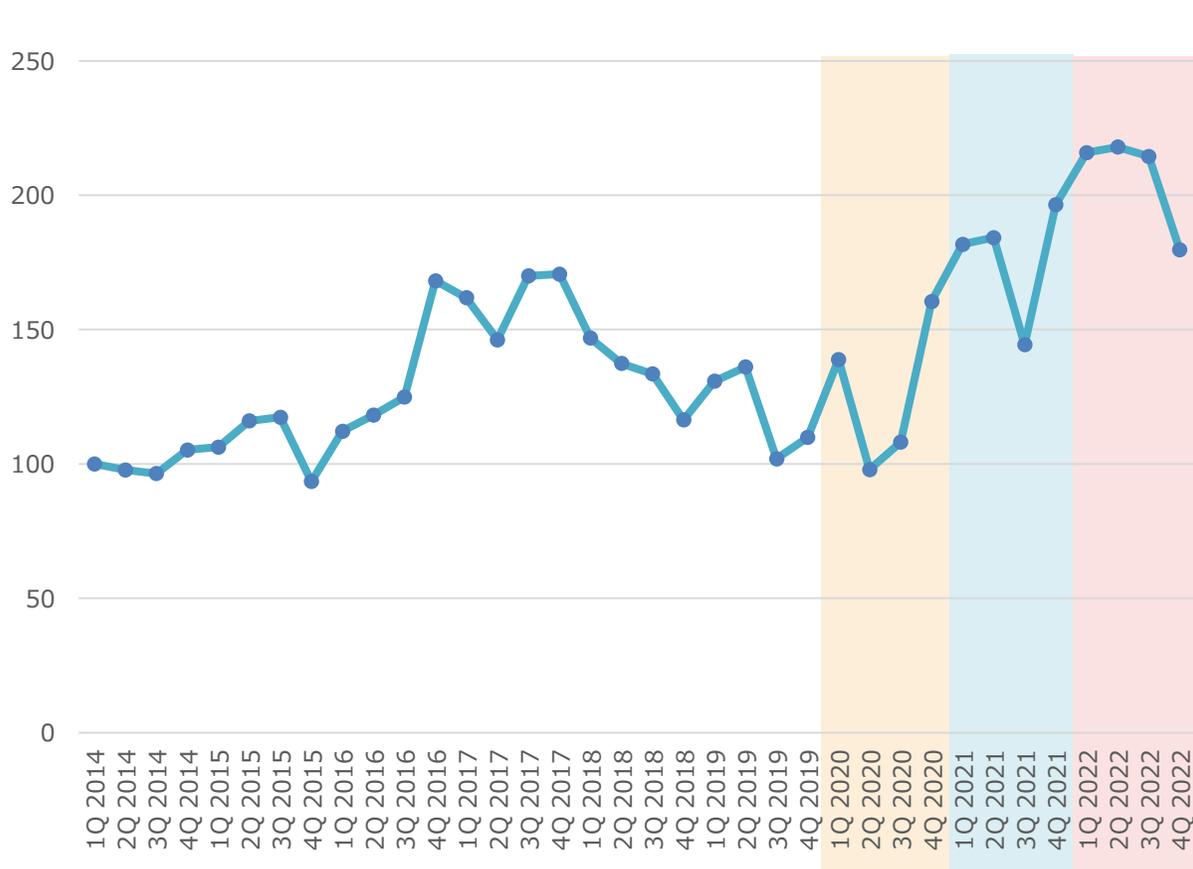
## 2022年→2023年



### 2022/4Q 精密減速機 連結受注

-QoQ ▲16% YoY▲9%

■一部海外顧客より纏め発注が2Q~3Qにあり、その反動減



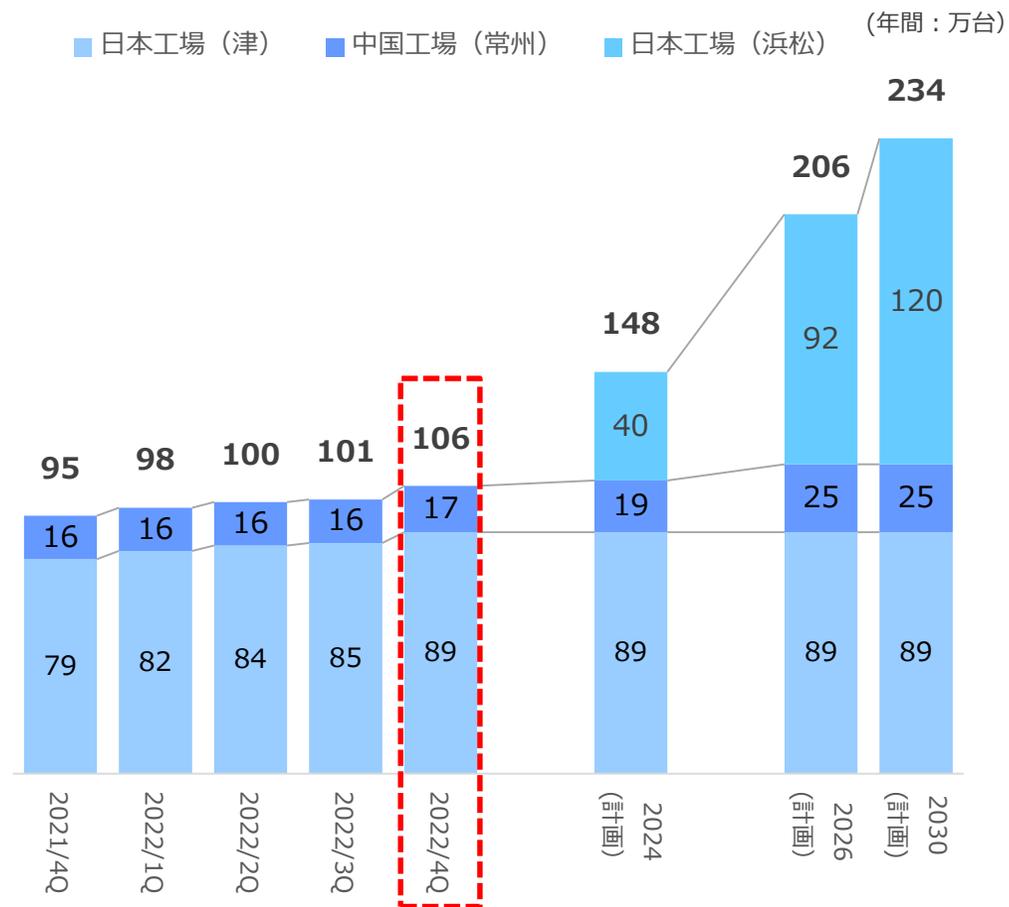
2014年1Q=100とした時の連結受注水準

### 2022/4Q 精密減速機 定時生産能力

-2022/4Q グローバルでの定時生産能力は年産106万台

4Q稼働率 日本工場：110%@89万台、中国工場100%@17万台

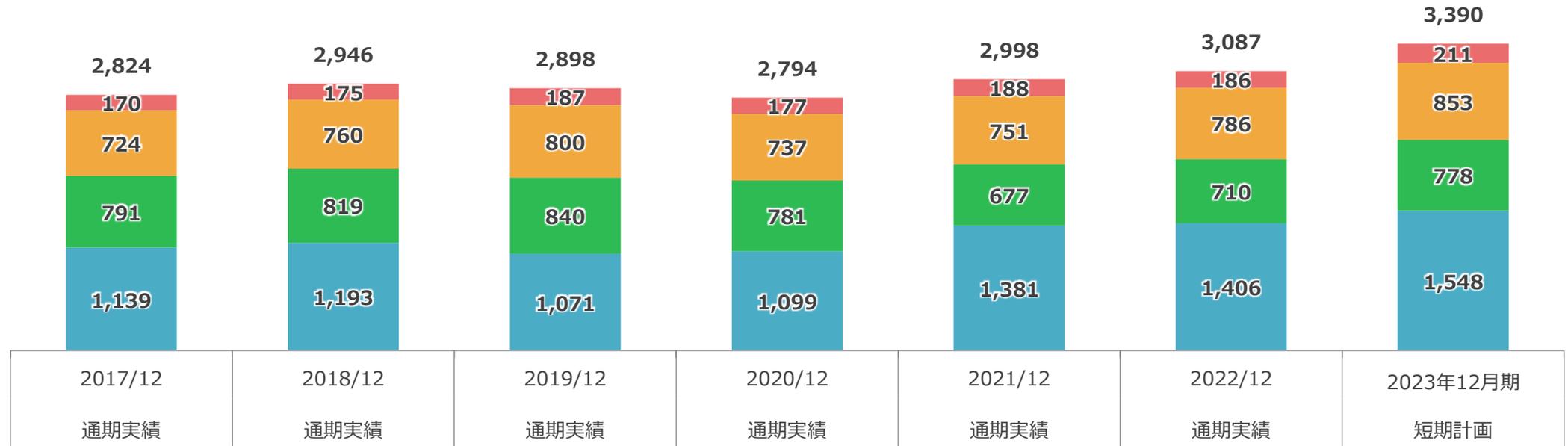
- 2023/4Q 浜松工場での生産開始予定



# 5. 売上高・営業利益推移

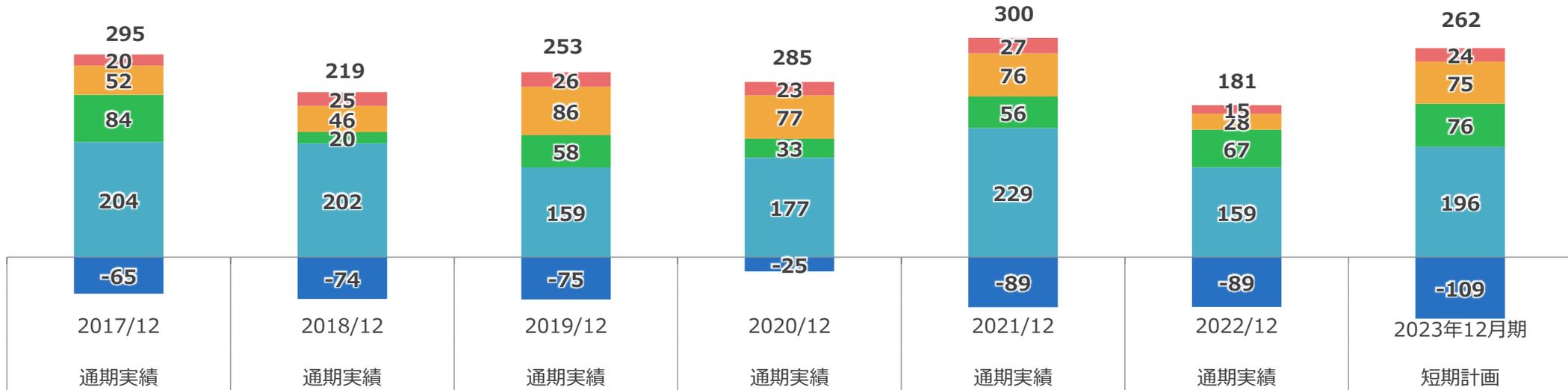
## 売上高

- CMP
- TRS
- ACB
- MFR



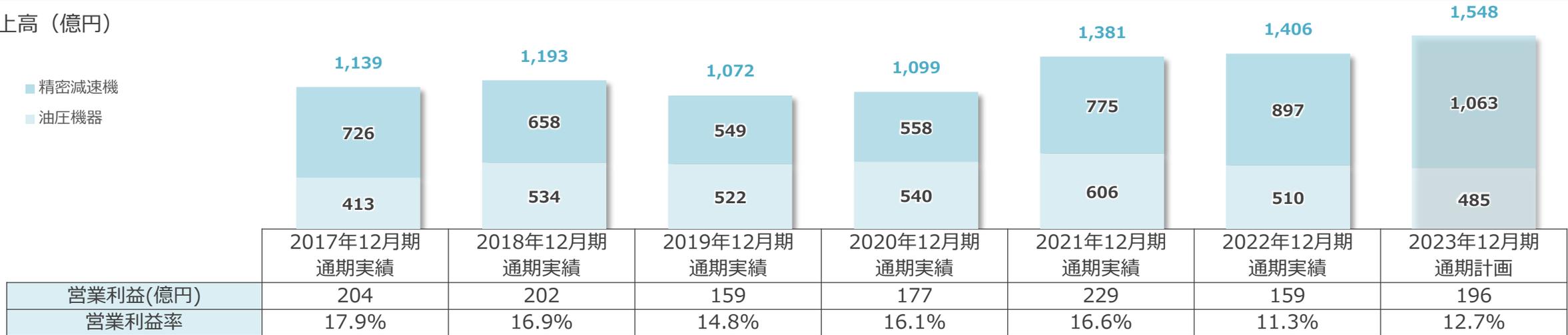
## 営業利益

- CMP
- TRS
- ACB
- MFR
- 全社または消去



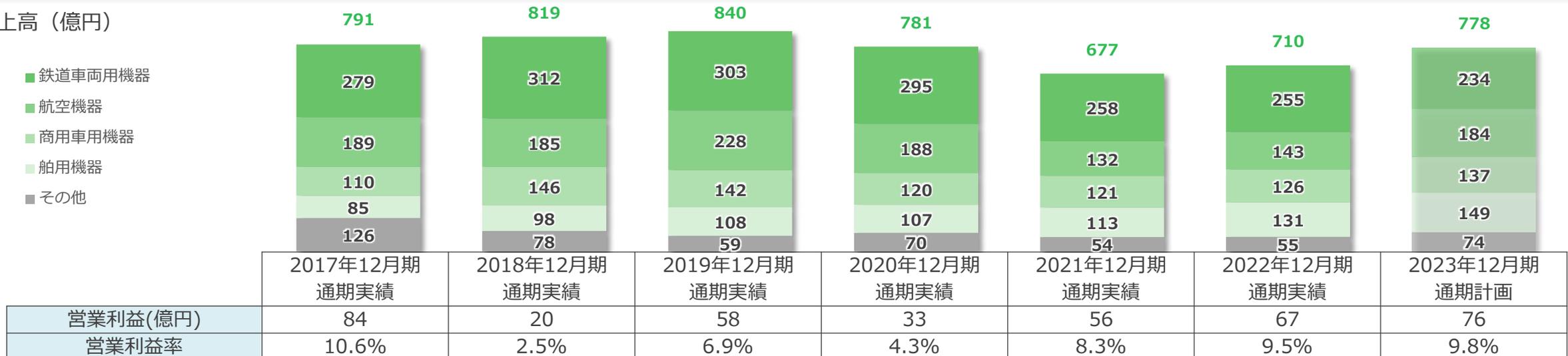
# コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

売上高 (億円)



# トランスポートソリューションセグメント (TRS)

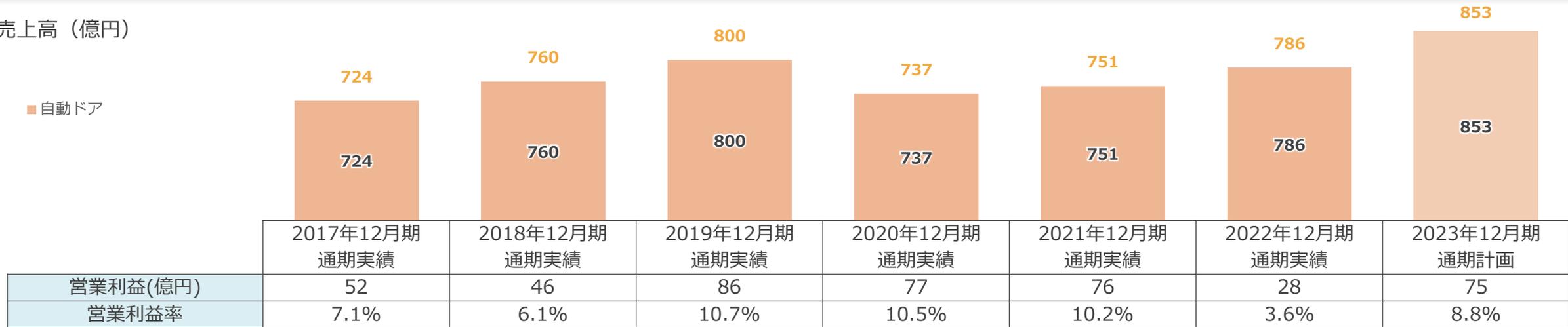
売上高 (億円)



# アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

売上高 (億円)

■ 自動ドア

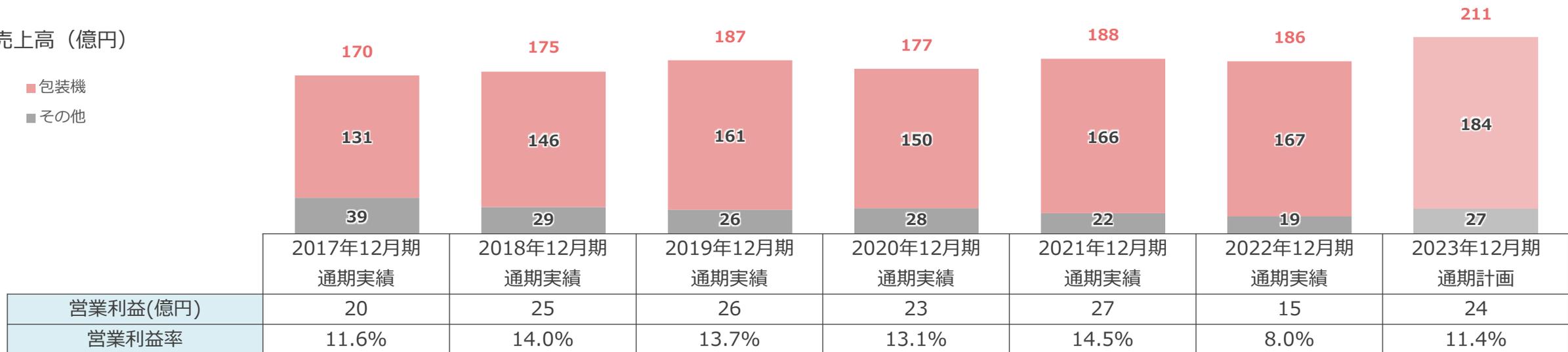


# マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高 (億円)

■ 包装機

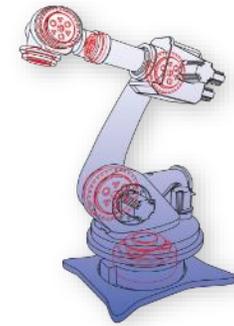
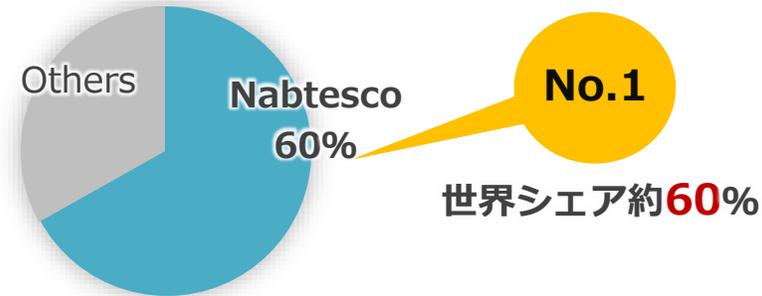
■ その他



注：シェアは当社推計

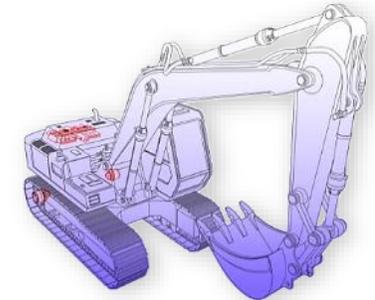
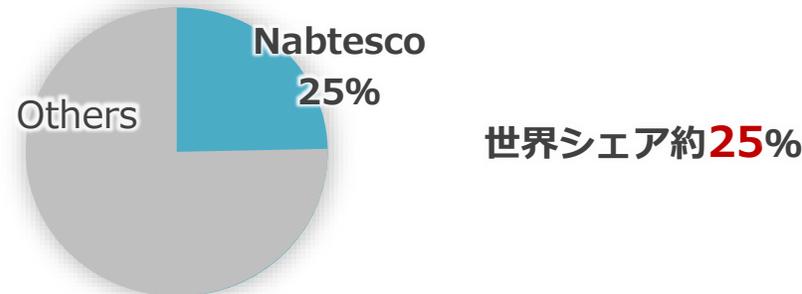
## 精密減速機

### ■ 中大型産業用ロボットの関節用途



## 油圧機器

### ■ 油圧ショベル用走行ユニット



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

### ■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

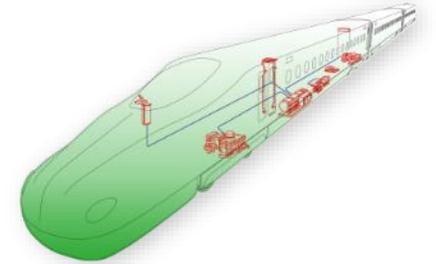
注：シェアは当社推計

## 鉄道車両用機器

### ■ 鉄道車両用ブレーキシステム

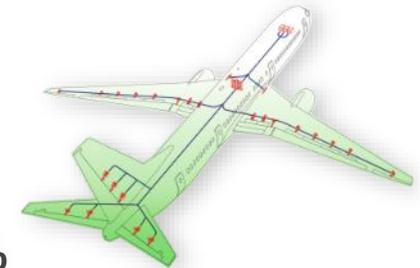


### ■ 鉄道車両用ドア開閉装置



## 航空機器

### ■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

### ■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

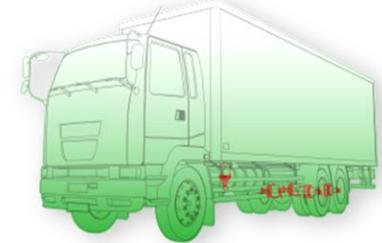
注：シェアは当社推計

## 商用車用機器

### ■ 商用車用ウェッジチャンバー

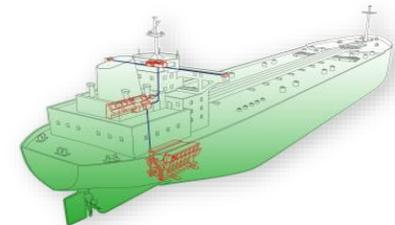


### ■ 商用車用エアド라이어



## 船用機器

### ■ 船用エンジン遠隔制御システム



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 商用車用機器

いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

### ■ 船用機器

川崎重工業、(株) ジャパンエンジンコーポレーション、(株) マキタ、日立造船(株)、三井E&Sマシナリー、Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、MAN Diesel (デンマーク)

注：シェアは当社推計

## 自動ドア

### ■自動ドア開閉装置



### ■プラットホームスクリーンドア



## 主要顧客 (敬称略)

**各種建物用自動ドア**：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関  
**プラットホームドア**：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

# マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

## 包装機

### ■レトルト食品用充填包装機



## 主要顧客 (敬称略)

### ■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

# Nabtesco

